

株主のみなさまへ

第42期 中間報告書

2021年4月1日～2021年9月30日



NISSo 日総工産株式会社

証券コード 6569



代表取締役社長執行役員兼CEO

清水 竜一

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より日総グループに対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、医療従事者の方々並びに感染の拡大防止にご尽力されている方々に、心より感謝申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、技術革新、多様な働き方など変化してまいりました。また、新型コロナウイルスの影響もあり、その変化のスピードは加速度を増しております。そんな中、国内での新型コロナウイルスの影響は落ち着きつつあるものの、世界的な半導体不足に加え、新型コロナウイルスの影響による東南アジアのサプライヤーチェーンの分断、複合的な物流の問題などもあり、経済の先行きには不透明感があります。

しかしながら、自動車、電子部品といった分野では、今後、挽回生産が予定されており、増産時の対応として、必要な人材の確保を質・量の両面で実現することが当社の使命だと考えております。そのために、お客さまのニーズを的確に把握し、育成した人材をスピーディーに配属する必要があります。私たち日総グループは、企業と人の成長を支援する人材ソリューションサービスの提供を通じて「働く機会と希望を創出する」というミッションを掲げております。働く機会の提供に加えて、いかに幸福に生きていただくかということが、重要だと考えております。

新中期経営計画では、特に働く人々の幸福感の達成に重点を置いております。ESなくしてCSの実現はないという思いのもと、新しい時代に即した人づくりを推進し、高い成長力の企業グループに変革してまいります。

第2四半期決算を振り返る 採用・育成を断行、下期より巻き返しへ

スペシャル対談

代表取締役社長

清水 竜一



経済アナリスト

馬淵 磨理子 氏



Q1 2022年3月期第2四半期(2Q)決算は在籍者数の増加に伴い売上高が伸びましたね

顧客メーカーが生産調整を行う中、一方で来るべき挽回生産への準備も求められていたことから、当社は人材の採用・育成をコロナ禍においても積極的に続けてきました。その結果、給与の一部補填を受けるなど顧客メーカーの協力もあり、2Qは売上高36,694百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益は824百万円(同12.7%増)と一定の成果を残すことができたと思います。



挽回生産については、当初の想定から2か月ほど遅れましたが、いよいよ12月から立ち上がりそうです。遅れを取り戻すべくフル稼働、私がこれまで業界で過ごした30年間では見られなかったような状況で臨むこととなりますが、働く方々のモチベーションを保ちつつ、顧客メーカーが望む生産台数を目指します。

Q2 2Qは利益の一部が期ズレただけで、中期経営計画の変更はないですか

在籍数が想定よりも早く増えたため、逆に、達成時期が早まる可能性があります。当社の業績は、実際に働いている方の数と、付加価値を高めて一人当たりの売上高を上げていくという「掛け算」で作られています。付加価値につ

いても、専門の研修を積んだ「技能社員」「エンジニア」が順調に増えていますし、離職率も3.8%と、目標とする4%を下回る状態が続いています。

採用も順調です。今期は月1,000名と計画していましたが、コロナ禍による外出自粛などの影響から750名ほどにとどまっていたものの、10月よりテレビCMを流したところ、さっそく11月には900名程度にまで一気に拡大しました。

Q3 新規事業については、いくつか進展があったそうですね

昨年9月に資本業務提携を結んだクロスコンパス社から技術を借りて、AIを搭載した装置と当社の人材とをセットにして提供するサービスのプロトモデルを、顧客メーカー数社と完成させました。製造現場は慢性的な人手不足に加えてコロナ禍が自動化・省人化といったニーズに拍車をかけています。ところがAIを導入しようにも肝心のデータが不足していますから、複数の製造現場を横断的に知る当社の人材とノウハウが役立つものと考えています。

今年8月に買収したベクトル伸和は半導体の製造装置や計測器メーカーなどと取引があり、ここは当社が取引口座をもっていないメーカーです。新たなアカウント企業を開拓するべく自動車に次ぐ柱として育成してまいります。



中期経営計画の進捗状況

日総グループは2022年3月期を初年度とする中期経営計画を策定し、新たな成長を見据えた「ミッション」と「ビジョン」のもと、取り組みを進めています。その進捗を以下にご報告します。

2022年3月期 通期目標 進捗 (第2四半期)

76,000 百万円

36,694 百万円

進捗率
48.3%

2022年3月期 ターゲット別売上高目標 進捗 (第2四半期)

▶既存領域

68,400 百万円

32,654 百万円

進捗率
47.7%

▶エンジニア領域

4,100 百万円

2,545 百万円

進捗率
62.1%

▶その他の事業

3,000 百万円

1,494 百万円

進捗率
49.8%

既存領域につきましては、自動車関連で部品不足による生産調整が発生した一方、電子デバイス関連では、半導体を中心に生産は好調に推移しました。自動車関連では、ボデーメーカーを中心に挽回生産が計画されており、自社求人サイト「工場求人ナビ」の知名度向上に向けテレビCMを2021年10月1日より放映開始するなど、採用への積極的な投資を進めています。また、既存領域拡大の成長戦略の第一歩として、2021年8月31日付で半導体、精密機器などの製造業における請負業務を柱とした株式会社ベクトル伸和の全株式を取得いたしました。その結果、売上高進捗率は47.7%となりました。

エンジニア領域につきましては、エンジニアに特化した自社求人サイト「engineer works」の活用と、製造系人材のエンジニアへの配置転換を推進することで、設備技術を中心としたエンジニア数は901名となりました。その結果、売上高進捗率は62.1%となりました。

その他の事業(介護・福祉)につきましては、横浜市内6か所にある介護施設「すいとびー」における提供サービスの質を高める施策のもと、全体の平均入居率は95.0%と高い入居率を維持しております。また安定した収益基盤構築を目的として、業務の効率化、経営体質の改善に取り組んでおります。その結果、売上高進捗率は49.8%となりました。

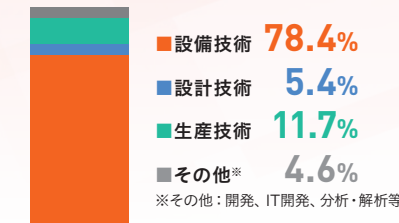
※2022年3月期通期連結業績予想の修正は、反映しておりません。

個別戦略・エンジニア領域の拡大

設備技術分野を核にAIやデジタル領域に強いエンジニアを育成

中期経営計画では、「エンジニア領域」を成長エンジンと位置付け、エンジニア人材を他の製造系人材と区分し、強化と拡大に取り組んでいます。大別して設備技術、生産技術、設計技術の3つの業種がありますが、当社の強みは在籍者の78.4%を占める設備技術にあります。この分野は製造との親和性が高く、当社に蓄積した育成ノウハウが活かせるとともに、AIやVRなどのデジタル技術関連の新しい教育カリキュラムも整備。質の高いIT、AIエンジニアを育成し、新規領域への進出、既存領域のシェア向上につなげていきます。

▶2022年3月期第2四半期
業種別在籍構成比 (単位: %)



① 採用チャネルの拡大

2021年8月より、エンジニアに特化した採用サイト「engineer works」をオープン。

「engineer works」URL
<https://engineer-works.jp/>



▶募集職種の明確化と拡大

ものづくり系

- ・機械設計
- ・回路設計
- ・組込制御
- ・CAE解析
- ・CADオペレーション
- ・生産技術・品質保証
- ・メンテナンス・保守
- ・研究・開発
- ・分析・評価・試験
- ・その他技術系

IT系

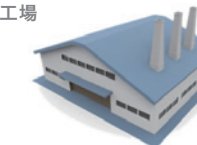
- ・PM・PMO
- ・システムエンジニア
- ・プログラマー
- ・サーバー・ネットワーク
- ・システム運用保守
- ・テスト・評価
- ・社内SE・ヘルプデスク
- ・AI関連
- ・Webデザイン
- ・その他IT系

② AIエンジニアの育成

2020年9月に資本及び業務提携契約を締結したAI技術企業、株式会社クロスコンパスとの新たな教育カリキュラムがスタート。両社の強みとノウハウを活かし、製造業向けの高付加価値サービス「ヒトとAIによる現場ソリューション」の創出を目指しています。

▶クロスコンパスとの協業

工場



ヒトとAIによる
現場ソリューション

製造現場の
課題・ニーズ



半導体・精密機械分野の 製造人材会社「ベクトル伸和」が 新たにグループに加わりました。



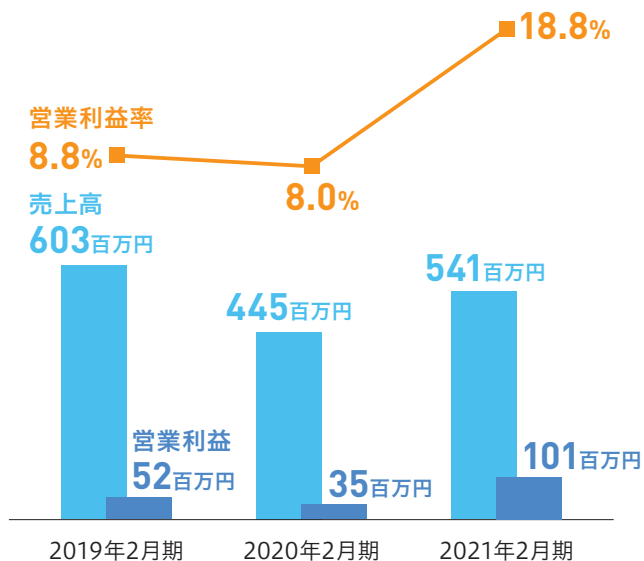
日総工産は、中期経営計画に掲げる「既存領域拡大」の成長戦略の第一弾として、2021年8月31日付で、株式会社ベクトル伸和をグループ会社として迎えました。「人」を大切に、人材育成を重んじるという共通の理念に基づき、グループの力を結集し、成長を実現していきます。

グループシナジーの創出により事業拡大を実現

株式会社ベクトル伸和は、「少数精鋭」を合言葉に人材育成に力を入れており、愛知県、広島県、福岡県を拠点として、半導体や精密機器などの製造業における請負業務を事業の柱としながら、治具や各種生産設備の設計・開発・製造、人材派遣、人材紹介など幅広い業務を手掛けています。半導体製造装置メーカーとの取引で長年培った組立技術と多様な品種に対応してきた実績があり、代替のきかない高付加価値サービスを提供できる企業としてメーカーから高い信頼を得ています。

日総グループの一員となり、求人サイト「工場求人ナビ」を通じた人材の全国採用や研修施設での人材育成など、当社のリソースを活用することで、新たなオーダーへの対応や事業運営体制の強化など、業績拡大の可能性が広がります。グループシナジーの創出により、事業拡大を目指します。

▶ベクトル伸和 実績



ベクトル伸和の強み

- 半導体製造分野の業務請負や人材派遣で高い収益性と成長性
- 世界的に高いシェアを誇る半導体製造装置メーカーと強固な取引関係
- 半導体製造装置組立の高い技術力

日総グループのCSR活動

CSR報告書2021
https://www.nisso.co.jp/ir/esg/esg_13.html



日総グループは、創業理念「人を育て 人を活かす」に則り、働く人が働きがいを持ち成長していける職場を構築していくとともに、お客さま企業の成長に貢献することを目指しています。さらなる企業価値向上を実現するため、SDGsを視野にサステナブルな社会の実現に向け、CSR活動を行っています。

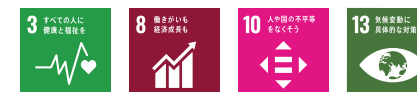
サステナビリティ方針 (Sustainability Policy)

私たち日総グループは、企業と働く人の成長を支援する人材ソリューションサービスの提供を通じた「働く機会と希望を創出する」というミッションの達成に向けて、持続的な事業の成長を目指すとともに、人権と労働、環境、安全衛生、倫理の方針を定め、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進します。

マテリアリティ (重要課題)

Materiality 1: 働きやすい職場づくり

社員がいきいきと働き続けるために必要なこと



Materiality 2: 社会変化や産業構造変化への対応

社会的な考え方や技術進化の変化に対応し続けるために必要なこと



Materiality 3: ガバナンスの強化

時代が変化し続ける中で、あるべき姿を追い続けるために必要なこと



日総びゅあでの障がい者雇用への取り組み

日総びゅあ株式会社では、さまざまな障がい(身体障がい、知的障がい、精神障がい)をお持ちの社員を挑戦する人として育成し、それをサポートしていく「日総びゅあの育成方針」を掲げています。その方針のもと、障がい者社員をチャレンジドスタッフ(CS)、CS社員を指導・支援するスタッフをサーバントスタッフ(SS)と呼称しています。今後も、一人ひとりの能力・適性に応じた働き方と可能性を活かすための職域の拡大と、活躍に向けた育成を継続していきます。

地域スポーツ支援・横浜DeNAベイスターズへの協賛

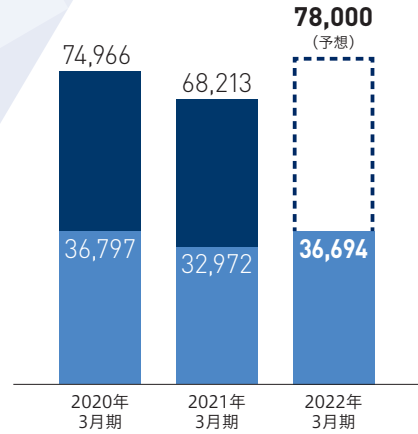
スポーツへの支援を通じて地域の活性化、次世代の育成に貢献することを目的に、2018年より、「横浜DeNAベイスターズ」とのスポンサーシップ協賛契約を締結しています。2021年度は、地域貢献活動の一環として「日総工産パーティースカイデッキ 2021シーズンチケット」を横浜市少年野球連盟に寄贈し、地域の子どもたちがプロ選手の活躍を間近で見る機会を提供しています。



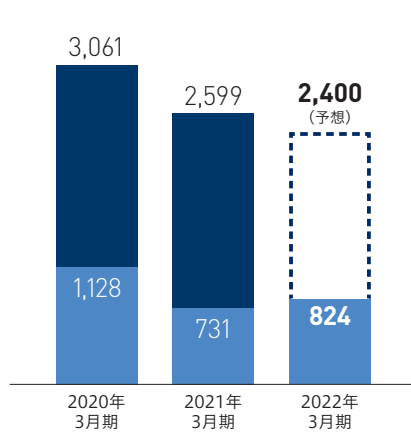
業績 ハイライト

連結

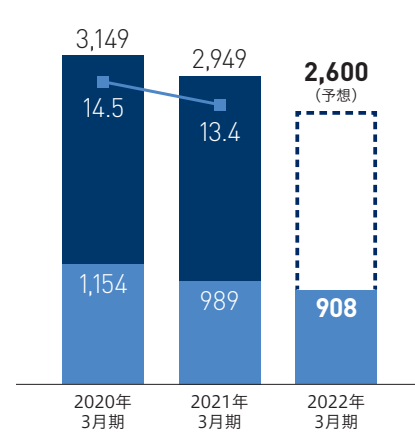
売上高 (百万円)
■第2四半期 ■通期



営業利益 (百万円)
■第2四半期 ■通期

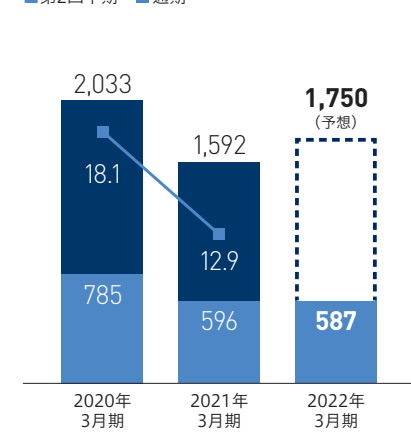


経常利益 (百万円) / ROA[※] (%)
■第2四半期 ■通期



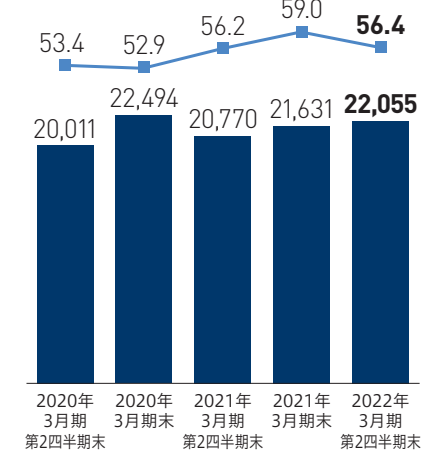
※総資産経常利益率

親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益 (百万円) / ROE[※] (%)
■第2四半期 ■通期

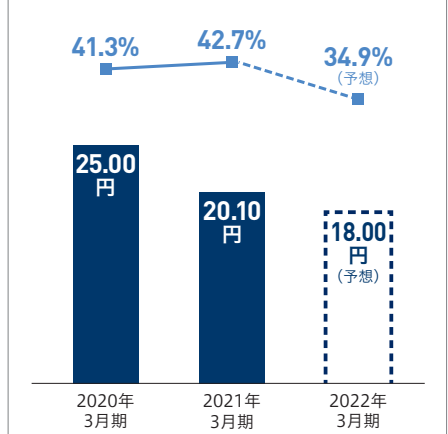


※自己資本利益率

総資産 (百万円) / 自己資本比率 (%)



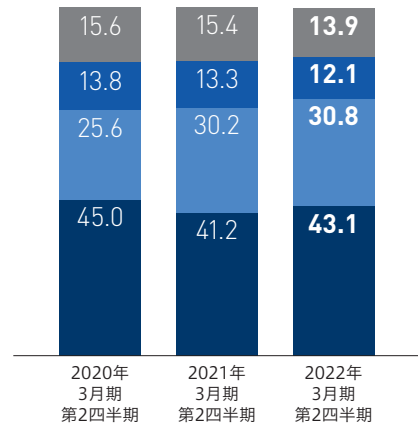
1株当たり配当金 / 連結配当性向
■1株当たり配当金 ■連結配当性向



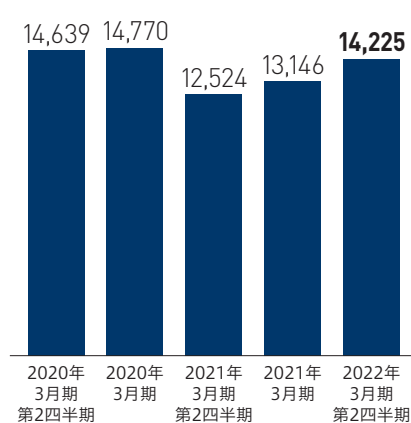
2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2019年3月期の配当実績は、2019年5月1日付分割後の配当金額を記載しております。

単体

業種別売上高構成比推移 (単体) (%)
■自動車 ■電子デバイス ■精密・電気機械 ■その他



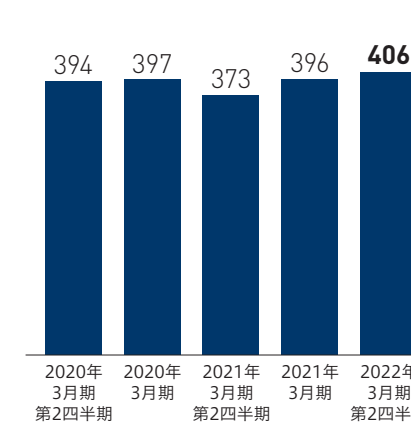
在籍人数の推移 (名)



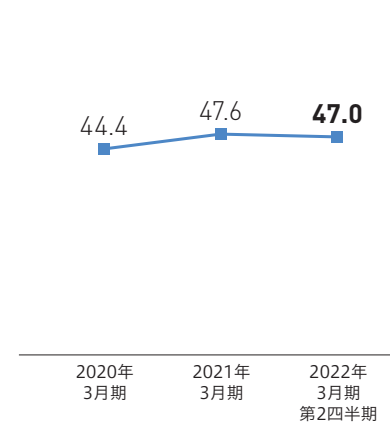
離職率の推移 (%)



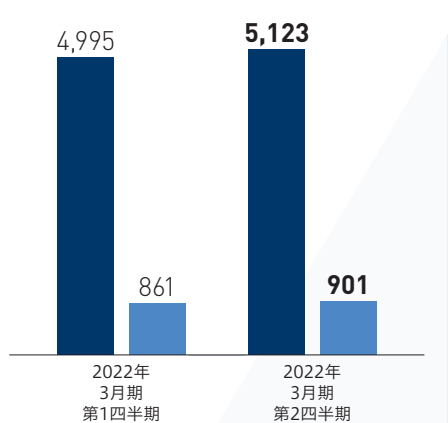
1人当たり売上高の推移 (月平均換算) (千円)



アカウント企業グループの売上高に占める比率 (%)



技能社員・エンジニア数 (名)
■技能社員 ■エンジニア



自社求人サイト 「工場求人ナビ」の テレビCMがスタート

中期経営計画・2022年3月期～2024年3月期の達成に向け、お客さま企業のニーズにあった価値ある人材を提供していかなければなりません。その施策として、日総工産及び自社求人サイト「工場求人ナビ」の認知度向上を図るため、10月より、テレビCMの放映を開始しました。

自社求人サイト「工場求人ナビ」とは

- 製造系人材サービスの自社独自の求人サイト
- 当社に入社する人材の6割超が「工場求人ナビ」を經由

CM概要

出演：黒島結菜(くろしま ゆいな)
放映開始日：2021年10月1日(金)
放映地域：全国

※当社ホームページでもCM本編及びメイキングビデオを公開

URL <https://www.nisso.co.jp/ir/>



会社概要／株式の状況

(2021年9月30日現在)

会社概要

商号	日総工産株式会社 (英文社名：NISSO CORPORATION)	
証券コード	6569	
創業	1971年2月3日	
本社所在地	〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜一丁目4番1号 日総工産新横浜ビル	
連結従業員数	2,099名	
製造スタッフ・派遣スタッフ	13,928名(期中平均)	
資本金	2,015百万円	
主たる事業	製造系人材サービス (製造派遣、製造請負、職業紹介等)	
役員	代表取締役 社長執行役員兼CEO	清水 竜一
	取締役 常務執行役員兼COO	宇田川 利保
	取締役(社外)	門澤 慎
	取締役(社外)	大野 美樹
	常勤監査役(社外)	石田 章
	監査役(社外)	長谷川 隆太
	監査役(社外)	坂野 英雄

公式 マスコットキャラクター

はじめまして!
私の名前は、「つくりん」です!

創業50周年の記念すべき年に、マスコットキャラクター「つくりん」が新たに仲間入り!せいぞうくんと一緒に工場働く方々の安全で快適な職場を守るため、はるか宇宙からやってきました。これから、せいぞうくんとべたと共に、日本のものづくりを支えていきます。

株式の状況

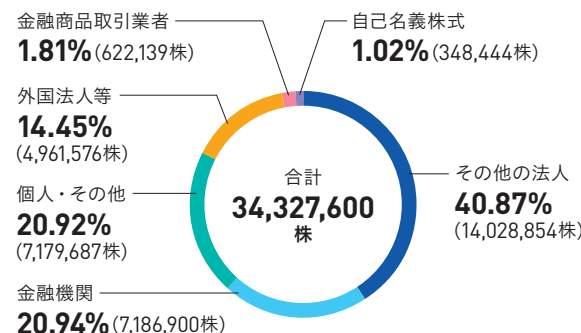
発行可能株式総数	102,400,000株
発行済株式総数	34,327,600株
株主数	4,012名

大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合(%)
NSホールディングス株式会社	13,917,400	40.96
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,819,400	8.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,498,900	7.35
清水 唯雄	1,022,600	3.01
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	992,300	2.92
清水 智華子	974,000	2.87
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	767,444	2.26
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN (CASHPB)	569,900	1.68
MSIP CLIENT SECURITIES	514,005	1.51
岩重 正一	433,800	1.28

※発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合は、小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	当社ウェブサイト内の下記アドレスに掲載します。 https://www.nisso.co.jp/ir/notice/ ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東京証券取引所市場第1部 (証券コード6569)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話お問合せ先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝休日を除く9:00～17:00)

※詳細は当社のホームページ(https://www.nisso.co.jp/ir/stock_bond/)をご参照ください。

株式事務に関するご案内

お問い合わせ内容	お問合せ先
支払期間経過後の配当金について	みずほ信託銀行株式会社 フリーダイヤル 0120-288-324 [土・日・祝休日を除く9:00～17:00]
氏名・住所変更等	口座を開設されている証券会社等
配当金受領方法の変更	※口座を開設されていない方は、上記みずほ信託銀行株式会社

※特別口座では、単元未満株式以外の売却を行うことはできません。また、単元株式を売却するには、証券会社にお取引口座を開設し、特別口座から株式を振り替えるお手続きが必要です。

株主通信アンケート 結果ご報告

第41期報告書「株主のみなさまへ」でお願いましたアンケートにご協力いただきありがとうございます。今回は、皆さまからいただいたご意見の中で特に多かったものについて、ご紹介いたします。

株主さまのご意見を紹介します。

株主
さま



株価の一層の上昇、配当の充実にも心がけていただきたい。
また、株主優待を検討してほしい。

株主
さま



私は成長性もある良い会社と考え株主になりましたが、世間一般にはまだまだ知名度が低いと感じます。これから期待しています。

株価につきましては、市場からの評価により決まるものであるため、今後も企業価値の向上、IR活動に注力し、投資家の皆さまに当社株式の投資価値をアピールしてまいります。配当につきましては、今期は来期以降の成長のための投資を行うことを踏まえ、配当性向を基本の30.0%としておりますが、将来につきましては投資とのバランスを踏まえたうえで、30%を超える配当を検討してまいります。また株主優待制度については来期の実現を目指し、導入に向けた準備を現在進めております。

日総
工産



当社グループの企業価値を高め、成長していくことが知名度を高めるうえで重要だと考えております。また、取引先メーカーのニーズにさらに応えるとともに、「日総工産」及び「工場求人ナビ」の知名度向上を目指し、新たに10月より女優黒島結菜（くろしまゆいな）が出演する、自社求人サイト「工場求人ナビ」のテレビCM放映を全国で開始いたしました。

日総
工産



アンケートにご協力ください

株主アンケート

アンケート実施期間 2022年1月31日まで

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、右記アンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただきました内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的には使用いたしません。

このアンケートは、諸費用（郵便料金など）の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン（IR支援会社）が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。

【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】

株主ひろば 株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局 E-mail:kabuhiro@irjapan.co.jp

Amazon、Amazon.co.jpおよびそれらのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

アンケートサイト（画面）への接続方法

Yahoo!やGoogleなどからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば 検索 URL <https://kabuhiro.jp/>

ご回答方法

アンケートサイト (<https://kabuhiro.jp/>) 画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。

